



特定非営利活動法人

スペシャルオリンピックス日本・愛媛

事務局／〒790-0967 松山市拓川町3番44号

TEL／089-941-5630

No.32

2021年 1月20日発行

コロナ・パンデミックとSOの活動！



2020年は、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）で、「人間と自然・社会」の関係を見つめ直した一年になりました。日本においても医療関係者の懸命な努力にもかかわらず、感染拡大の動向は治まる気配がありません。

プログラムが中止に追いつめられる中、2020年12月6日（日）、第14回スペシャルオリンピックス日本・愛媛と松山湯築ライオンズクラブ共催のボウリング競技会が開かれました。開催を心配していただけに、実施できて本当によかったです。松山湯築ライオンズクラブ様には物心両面にわたって支えていただき、また機関紙やプログラムの印刷でご尽力いただいている富士ゼロックス四国株式会社様には、感謝

の思いでいっぱいです

ただ、今年のボウリング競技会は、コロナの影響で愛媛地区の参加者のみで実行し、中四国の他地区のアスリート・コーチ・ファミリーが参加できませんでした。愛媛の選手団総数は15名（アスリート11名、コーチ4名）、競技会運営関係者・ボランティア15名。競技会は宣誓の言葉「わたしたちは 精一杯力をだして 勝利を目指します たとえ、勝てなくても、頑張る勇気を 与えて下さい」で始まりました。参加したアスリートたちは、日頃の練習の成果を発揮し、新たな目標にチャレンジする一方、仲間と交流できたことをともに喜びたい。いつものことながら、会場の松山中央ボウルの皆様のご協力、そして実行委員・スタッフの尽力に対し、お礼を申し上げます。

ところで競技性と参加の普遍性といえば、田引俊和氏（北陸学院大学）の近著『日本の知的障がい者スポーツとスペシャルオリンピックス』（かもがわ出版）が刊行されました。この本を推薦した有森裕子さん（スペシャルオリンピックス日本 理事長）は、次のように本書を紹介しています。

「当事者のスポーツ要求が、障がい者スポーツの社会でのあり方に変容をもたらしていく。国内の知的障がい者スポーツ普及の一つの側面を担ってきたスペシャルオリンピックスの発展過程とその意義を問いかける一冊です」と。

著者の博士論文をもとにまとめられた本書は6章から成る。「第1章 障がい者スポーツ研究の動向・第2章 創生期のスペシャルオリンピックスと当時のスポーツ要求議論・第3章 スペシャルオリンピックスの展開過程・第4章 アスリートのスポーツ要求の実態と課題・第5章 新たなスポーツ要求に着目できていない実態と課題・終章」。「スポーツ要求の本来的なものは『参加』や『楽しみ』といった誰もが持つものであり、『競い合い』という要求はその前提があってこそ表出されるものだ」（165頁）。

少々難しい論文であるが、SON・愛媛が20周年を迎えるにあたって、権利としてのスポーツ要求の保障を考える上で参考になる本でしょう。



【 理事長 山本万喜雄 】



コロナ禍にあるアスリートの現状！

コロナ感染症により、プログラムもままならない一年でした。それでも、前を向き日々活動をしているバドミントンプログラムのアスリートの皆さんに、プログラムがない時はどうしているかを聞いてみました。

<プログラムがないときどうしてる？>

～バドミントンプログラムのアスリートに聞きました～

・以前から週に一度スイミングクラブに通っています。
【末松堯さん・水崎弘章さん】

・コロナの前から、自宅のエアロバイクで運動しています。【浅井則生さん・栄二さん】

・家で体操をしています。
【仙波陽介さん】

・ランニングをしています。
SOのオンラインマラソンにも参加してるよ～！
【中川太雅さん・池田祐二さん】

・お父さんが休みの日には一緒にバドミントンをしています。
【山本幸乃さん】

・デイサービスのイベントに参加しています。
【和田誠梧さん】

・ウォーキングをしています。
【渡部翔太さん・橋本舞さん】

・バランスボールなどで体操をしています。
【高木恵さん】

・美術館などに出かけています。
誕生日にはくるりに乗りました。
【高岡真理さん】

・プログラムがないとどうしても運動不足。
みんなに会えなくてさびしいです。
プログラムが待ち遠しいなあ…
【高木悠さん・須山豪さん】

編集：バドミントン 仲神早予子さん



※ 練習修了後のミーティングの様子です。
さんきゅうパーティーは、コロナ禍の為
お菓子を配って解散しました。



▲ コロナ禍の中今年最後の練習風景場所は、
以前使用していた重信のツインドームです。



『SONオンラインマラソン2020』に参加しました！

西条ブランチは、『SONオンラインマラソン2020』に2チーム参加しました。約2か月間（10/1～12/10）全国のアスリート達や、一般の人達と一緒に日本一周・世界一周を目標にそれぞれのペースで走りました。

週末ごとに出されるランキングや、マップに表示される走行距離を楽しみにするようになり、個人のモチベーションUP！！につながりました。

西条ブランチの2チーム参加しました。SON・愛媛みかんチームが2535.76km、SON・愛媛いよかんチームが1556.80km、総合計距離は4092.56km走りました。

コロナ禍で思うように練習ができない中でオンラインマラソンは、好きな時間に好きな場所で、誰でも気軽に参加でき仲間に会えなくても気持ちや心がつながっていると思えて、チャレンジして良かったです。

【西条ブランチ】



参加証
CERTIFICATE

チーム名 SON愛媛みかん 走行距離 (チーム) 2535.76 km

氏名 _____ 走行距離 (個人) _____ km

スペシャルオリンピックス日本オンラインマラソン2020にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。
あなたは、コロナ禍の状況においても、参加者と共に“心をつなぎ”世界1周の目標に向けてご協力くださいました。
ここに感謝の意を表します。 2020年12月10日
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事長 有報裕子



参加証
CERTIFICATE

チーム名 SON愛媛いよかん 走行距離 (チーム) 1556.80 km

氏名 _____ 走行距離 (個人) _____ km

スペシャルオリンピックス日本オンラインマラソン2020にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。
あなたは、コロナ禍の状況においても、参加者と共に“心をつなぎ”世界1周の目標に向けてご協力くださいました。
ここに感謝の意を表します。 2020年12月10日
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事長 有報裕子



・SONオンラインマラソン2020に参加して、僕の記録は511.76kmでした。

記録をみんなと競ったり、日本一周、世界一周の達成度を確認できるなど、今までとけっこう違ったマラソンで楽しかったです。

【アスリート 玉井智也さん】

・コロナウイルスで、いろいろな大会が中止になりました。残念な気持ちです。

SOのプログラムも、今は中止しています。そのかわりに、オンラインマラソンはいっぱい走りました。

多い時は、1日30kmぐらい走りました。同じブランチの人も、たくさん走っていました。

僕は9位でした。これからも、毎日走ります。

【アスリート 高橋健太さん】

・今年は全然大会に参加できなかったのが、SONオンラインマラソン2020にみんなと参加できて楽しかったです。

ありがとうございました。決まったコースではなくて、自分で地図を見て距離を測っていろんなところを走りました。

自分は目標があったらこんなに頑張れるんだと自信ができました。【アスリート 田坂亘祐さん】



第14回 NPO法人スペシャルオリンピックス日本・愛媛 松山湯築ライオンズクラブボウリング競技会 開催！



2020年12月6日（日）松山中央ボウルで、第14回NPO法人SON愛媛・松山湯築ライオンズクラブボウリング競技会が開催されました。

今回はコロナ禍によりSON・愛媛のアスリートの参加のみの大会になりました。

アスリート11名・コーチ4名、競技会運営関係者・ボランティア15名、総人数30名という少人数での大会となりました。

アスリートたちは、大会をみんなで楽しんでいるように感じられました。大会が開催されて本当に良かったです。次回は、中四国地区のアスリート達と一緒に出来る事を願っています。 【事務局】



・コロナ感染拡大の大変な時に競技会を開催していただけて本当にうれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。大好きなボウリングをできて、とても喜んでます。早くいつもの生活にもどり、全員で元気いっぱいボウリングが出来ることを心より願っています。 【ファミリー 時岡さん】

・コロナのために今年は開催されないのではと思っていましたが、開催していただいてありがとうございます。

アスリート達も楽しくプレーしていました。日頃の練習の成果を発表することができて、本当に良かったです。 【ファミリー 田所さん】

・コロナ禍の中、開催できて本当に良かったですね。

アスリートの頑張っている姿が見られて良かったです。また、練習出来る日が一日も早く来ますように!! 【ファミリー 橋本さん】

・次年度は各地区よりアスリートを招待できればと思います。 【実行委員 荻田さん】

・毎年アスリートの皆さんの一生懸命な姿に、元気と感動をもらっています。ありがとうございます。

日々の練習あつての大会ですが、楽しくストレス発散にもなればよかったと思います。

来年は、いつものように中四国地区のアスリートが全員集まって開催できる事を願っています。

【松山湯築ライオンズクラブ 松尾会長さん】



・今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で県内のアスリートのみの参加でした。しかたがないことだと思います。

プレーをするアスリートは、みんな真剣に一生懸命でその姿に私たちはたくさんの元気と勇気をもらいました。ありがとう！

来年は、県外の仲間も一緒に多くのアスリートが集まれることを期待しています。

【松山湯築ライオンズクラブ 角田さん】

・アスリートの皆さまのいきいきとしたプレーを見て、大会のすばらしさを改めて考えさせられました。協力いただいた皆様に感謝です。

【亀田さん】



トピックス！

令和2年度障がい者芸術文化祭～愛顔ひろがる えひめの障がい者アート展～
アスリートが作品を出展しました。



作品『ちょうちょさんのかくれんぼ』

▲ 鴻上莉奈さん



作品『藤井ビルN37』

▲ 野田 悠起さん



作品『卓上ほうきとちりとり』

▲ 和田 誠悟さん



作品『おんぶ』

◀ 浅井栄二さん

・身の回りのものや、自分の町の風景を切り取ってステキな作品に仕上げていますね。

コロナ禍の日々にあたたかなメッセージをくれる絵に出会えました。

【冬が苦手な愛媛人より】

※ いろいろな活動を通して、社会とつながっていくことは大切なことだと思います。でも、日々の活動ができるようになり、みんなで集まれる日が早く来る事を願っています。

【事務局より】



2020年ニュースレター賛助会員名簿（個人）

2020年12月31日現在

相原健二	相原佐奈江	青野毅	赤尾さとみ	秋山一郎	浅井栄二	浅井重喜
浅井則生	池田香	池田和弘	池田佐智子	一色環	一色豊	石丸信子
石丸妙子	和泉智恵子	和泉久美子	伊藤真利子	井上博	今崎一洋	大野文
大野順一	大西環	大西博子	岡田恵子	岡田孝文	小倉晃一	小倉ゆき
越智和代	落合操	梶原隆司	加藤敏浩	亀田均	賀原忠道	賀原祥枝
賀原若菜	荻田欣也	河北万里	河島淳子	木原明美	公原泰夫	工藤美奈子
久米敏子	栗田弥和	栗田龍征	合田久子	合田幸広	佐伯都	佐々木章公
佐々木貴裕	佐々木有希子	塩崎晃英	篠原博	白石敦彦	白石美奈子	末松茂
末松ひとみ	鈴木豊博	須山広周	角倉正雄	仙波節子	仙波満美子	杉森朝日新聞舗
曾我部冬子	高岡孝一	高岡伸行	高木悦野	高木悠	高木弘子	高木正敏
高橋猛	高橋道明	田口千春	武田真樹	武田正直	田坂栄二	田坂有祐
田所美恵	田中真澄	田中隆也	谷本加代	玉井孝明	玉井茂明	田村千代子
土居則行	時岡洋佑	時岡美恵	戸田幸	豊川奈都見	中岡正美	仲神繁秋
長野一朗	中川隆幸	中川真奈美	永野英子	永易信正	野島小百合	野田雅仁
野村よしみ	乃万哲	萩原貴美子	萩原寛	橋本治子	橋本舞	ハトの会
浜原先男	浜原道由	日野和幸	日野眞理	福島隆広	福島久子	福田佳代子
福樹恵	藤田いづみ	星加智也	本庄菊子	松浦侯子	松下里美	松田佳彦
松田玲瑠	松本義雄	真鍋秀美	三浦幸子	水崎圭二	三好みや	村上潤二
村上卓也	村上千恵美	森内雅子	森実保	森本里美	矢野信子	山内真二
山内澄子	山内康平	山田広子	山平真美	山本修嗣	山本正敏	横井直美
吉井章雄	吉丸美恵香	龍門壮太	龍門洋美	渡邊一彦	渡辺文喜	渡部房子
渡部正之	渡部美穂	和田麻喜				



2020年ニュースレター賛助会員名簿（企業）

株式会社石原自動車教習所	株式会社伊予銀行	風早集会所	株式会社小倉葬祭社
株式会社ファースト	株式会社レディ薬局	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	
伯方塩業株式会社	社会福祉法人日野学園	不二印刷株式会社	
株式会社松山ステージサービス		富士ゼロックス四国株式会社あいさとくらぶ	
今治ボウリング協会	株式会社えひめ保健企画	株式会社イクシオ指定相談支援事業所HARUTA	



2020年寄付

落合操

今治ライオンズクラブ



発行 NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・愛媛
〒790-0967 松山市拓川町3番地44号 日野学園内
TEL・FAX 089-941-5630
メールアドレス: ehime@son.or.jp
SON愛媛 HP: <http://www.son-e.com>

※ このニュースレターの印刷は、富士ゼロックス四国株式会社様にご協力いただいております。